

被災地の「子供たちに笑顔プロジェクト」(国立青少年教育振興機構)

被災地の子供たちの心身の健康づくりとリフレッシュを図る体験活動等の機会と場の提供を
「国立阿蘇青少年交流の家」と関係機関等との連携により、実施します！

今後、県や県立青少年教育施設、九州地区の国立青少年教育施設等とも連携していきます。 [詳細はこちら](#)



1. 子供たちに笑顔プロジェクト「派遣キャラバン隊」

避難先における子供たちの体験活動に関するアウトリーチを8月5日より開始しました(場所:益城町交流情報センター、八代市自治公民館など)。

今後も、避難所の体育館、集会所、地域の公民館等にアウトリーチ活動を実施予定です。

2. 子供たちに笑顔プロジェクト「リフレッシュ・キャンプ」

阿蘇青少年交流の家や他の青少年教育施設を会場とした、「リフレッシュ・デイ・キャンプ」や「リフレッシュ・ファミリーキャンプ」の実施を検討しています。被災した児童・生徒が自然に親しみながらの体験活動を通じて、心穏やかに心身ともにリフレッシュする機会を提供する予定です。

被災地の子供たちの心身の健康づくりとリフレッシュを図る体験活動等の機会と場の提供

(1) アウトリーチ活動(令和8年8月5日～)

【子供たちに笑顔プロジェクト】「派遣キャラバン」

(2) 阿蘇や他施設を会場とした活動(日程調整中)

【子供たちに笑顔プロジェクト】「リフレッシュ・ファミリーキャンプ」

【子供たちに笑顔プロジェクト】「リフレッシュ・デイ・キャンプ」

阿蘇青少年交流の家HP https://aso.niye.go.jp/news/kumamoto_sagai_recreation.php

被災された地域の皆様へ

このたびの令和8年熊本地震により、被災された地域にお住まいの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

国立阿蘇青少年交流の家では、被災された地域を支援するため、避難所や地域の集会所等への出張、または本所へのご来所により、レクリエーションやニュースポーツ、絵本の読み聞かせ等を通じて、子どもが少しでも心と体をリフレッシュしていただける時間をお届けする取り組みを実施いたします。子どもたちの居場所づくりや気分転換の機会として、ぜひご活用ください。

プログラム内容(例)

体育館や屋内スペースなどで実施できる、ニュースポーツやレクリエーション活動を多数ご用意しています。

- ・ 輪投げ、ボーリング、バツゴー(穴の空いたボードにお手玉を投げ入れるゲーム)など、座ったままでも楽しめるプログラム
- ・ フラフープやボールなどを使った、世代を問わず楽しめるグループレクリエーション
- ・ 絵本の読み聞かせや紙芝居など
- ・ 子どもから大人まで、どなたでも気軽に参加いただける内容です



ご利用にあたって

- ・ 対象:熊本地震により被災された地域にお住まいの皆さま(避難所での避難生活を送られている方に限らず、ご自宅や仮設住宅等で生活されている方も含みます)
- ・ 費用:無料(職員が出張し、用具等も当施設で準備いたします)
- ・ 実施時間:2時間程度、1日コース(ご相談いただければ、ご希望に応じて弾力的に対応いたします)
- ・ 実施場所:ご希望の場所(避難所の体育館・集会所、地域の公民館など)へ職員が出張して実施。※会場は各団体でご手配ください。手配が難しい場合は、ご相談ください。国立阿蘇青少年交流の家(本所)にお越しいただいての実施も可能です。その際は、活動後に本所の大浴場をご利用いただくこともできます。
- ・ お申し込み:自治体・自治会・避難所運営者様など、地域の皆さまをとりまとめる方からのご依頼をお待ちしております。